

| | | | | |
|-------------------|-------|------|-------|--------|
| 特講 (地域と生活) | | | 科目コード | AT1029 |
| 単位数 | 履修方法 | 配当年次 | 担当教員 | |
| 1 | S(講義) | 1年以上 | 村田 周祐 | |

※この科目は9/28・29に仙台会場で受講が可能です。受講希望者は8/21までに履修登録とスクーリングの申込みが必要です。

■スクーリングで学んでほしいこと

この授業では、地域と生活を切り口に、日本民俗学や村落社会学の社会観の獲得を目指します。人口減少社会やグローバル市場の最前線にある現代農山漁村を題材に、それでも地域生活を再編していく人々の英知に接近します。本講義では、英雄ではなく、「普通」の人々(私たち)の日常に埋め込まれた「創造性」に接近し学ぶことで、これまでとは異なる「世界の見え方」を獲得していくことを目的とします。

■到達目標

これまでとは異なる、もう一つの視点から社会・世界を見ることができるようになる。

■スクーリング講義内容

| 回数 | テーマ | 内容 |
|----|----------------|--------------|
| 1 | あたりまえを疑う | 常識や普通ってなんだろう |
| 2 | なぜいま地域なのか① | 福祉国家と地域 |
| 3 | なぜいま地域なのか② | 福祉社会と地域 |
| 4 | 距離と生活保障からみる地域 | 東北の限界集落の創造力 |
| 5 | 移動と自由からみる地域 | 鳥取林業に集う若者たち |
| 6 | 軋轢と共生の地域 | 漁師になる移住サーファー |
| 7 | 人と自然の距離からみる地域① | アクティブラーニング |
| 8 | 人と自然の距離からみる地域② | アクティブラーニング |
| 9 | スクーリング試験 | |

■講義の進め方

本講義は知識ではなく、もうひとつの社会観・世界観の獲得を目指します。そのため、具体的な事例の紹介やアクティブラーニングなど、体感・追体験する学習が中心となります。

■スクーリング 評価基準

スクーリング試験100% (持込すべて可)

■スクーリング時の教科書

教科書は使いません。必要に応じて資料を配付します。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

「あたりまえ」ってなんだろうと、少し立ち止まって考えてみてきてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

講義を通して、考えたことや気になったことを調べてみてください。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「他者への関心と理解」「社会への関心と理解」「自他尊重的コミュニケーション能力」「クリティカルシンキング力」を身につけてほしい。

ふだんの生活やさまざまな活動を通して抱いた疑問をもつ力を身につけてほしいです。何の変哲もない「ふだんの生活」に疑問を持つことは、実に難しいです。なぜなら、「ふだんの生活」に疑問を持つためには、まず自分にとっての「あたりまえ」に気づくことが必要だからです。その力を養う助けになればと思います。

■参考図書

村田周祐著『空間紛争としての持続的スポーツツーリズム：持続的開発が語らない地域の生活誌』
新曜社、2017年